

校長会報

第 127 号

発行所  
宇都宮市桜小学校  
栃木県小学校長会事務局

発行責任者  
高梨 敏朗

印刷所  
株式会社宮本印刷

### 変化への対応と組織の強化

栃木県小学校長会長 高梨 敏朗



平成二十四年度栃木県小学校長会長を引き受けることになりました。大変微力ではありますが、会員の皆様のご支援・ご協力を賜りながら精一杯努めさせていただきますのでよろしくお願いたします。

さて、少子高齢化、グローバル化、高度情報化、知識基盤社会の進展等、社会

の急激な変化に伴い、教育界にあっても様々な教育改革が進められています。

小学校新学習指導要領も

全面実施から二年目を迎え、各学校では、とちぎ教育振興ビジョン三期計画や学業指導の充実等を活用し、創意工夫を図りながら「生きる力」を育む教育の深化に向けて日々の教育を推進されていることと思います。

また、加えて、学校・家庭・地域社会との一層の連携・協力、教職員の資質能力の向上、学校の安全管理への対応等、学校は更なる教育的課題や社会の要請に

向けた積極的な取組も求められています。

こうした状況の中、学校現場では、増加した授業時数への対応、増加傾向の配慮を要する児童や価値観の多様な保護者への対応等、教職員の多忙感がこれまで以上に増しており、本来の教育活動の障りとなっています。

今改めて、学校にとって教育にとって必要なことは何かが問われており、「子どもと向き合う時間の確保」と「教育活動を活性化させる教職員の前向きな取組」も喫緊の課題の一つになっています。

教育にとって不可欠なものとは何かその本質を見極め、なお一層の学校のスリム化に取り組み等、学校運営の

工夫・改善を図りながら、自らの力で自分の未来を切り拓いていける人間の育成を目指して、確かな学校経営ビジョンの下、リーダーシップを発揮し学校の教育力、経営力を高めていく必要があると考えています。

学校を取り巻く課題は多岐にわたりますが、県小学校長会としましては、各地区校長会の皆様と情報を共有し連携を図りながら、様々な課題の解決に主体的に取り組んでいく所存です。

そして組織の力を生かし関係諸機関とも連携を図りながら、教育諸条件の整備・充実にも力を尽くしてまいります。

終わりに、昨年度示された、「変化への対応と組織の強化（意思の疎通）」のキーワードを今年度も継承し、本会員の皆様のお力をお借りしながら充実した校長会を目指して努力してまいりますので、ご支援・ご協力の程よろしくお願いたします。

(宇都宮市立桜小学校)

第六十五回  
栃木県小学校長会総会

平成二十四年度県小学校長会が五月十七日に県教育会館で、県教委教育長の古澤利通様をはじめ、多くのご来賓をお招きして開催されました。

高梨敏朗会長は挨拶の中で、「課題は多岐にわたるが教育にとって不可欠のものは何か、その本質を見極め、各地区校長会の皆様と連携を図りながら、様々な課題の解決に主体的に取り組む校長会を目指していく」と決意を述べられました。

その後、事業報告や決算報告、今年度の事業案や予算案が審議され、承認されました。

研修会では宇都宮大学の廣瀬隆人教授から「学校で育てる人権感覚」先ずは教師から」という演題で講演があり、参加者は身近な話題を通して改めて人権感覚の大切さを再認識していました。